


ニイハマ写真部 まち歩き撮影会



スタート & ゴール


2018年12月8日(土) 10:00~12:30 昭和通り周辺

1 口屋あかがねの松




約300年の時を経て、当時のまま今も同じ場所に残る松。
元禄15年(1702)に別子銅山用の生活物資や銅鉱輸送の物流拠点として「口屋新居浜分店」がこの場所に開かれた。
この松の木が近代化産業遺産として認定されている。

3 大江浜ふれあい広場



公園の片隅にある神々が大集合しているところ。
大江恵美須神社の屋根瓦のエビスさんと鯛の表情が愛らしい。
公園内のトイレもユニークなデザイン。
新居浜太鼓祭りでは大江浜かきくらべ会場として賑わう。

5 マナベ小児科




昭和6年(1931)に藝備銀行新居濱支店(今の広島銀行)として建てられたものが、現在は小児科として活用されている。
アール・デコ様式を基調とした洋館。

7 児島呉服店
(現在は営業しておりません)



昔の本町の面影を色濃く残す建物。レトロで洒落た看板が残っている。
銅板製の樋も珍しい。

9 銀泉街のカラー舗装



昭和32年(1957)に完成したモデル商店街。
放射状に整備された道路が特徴的。
カラー舗装された道路にあるクマ、パンダ、ゾウ、リス、アヒルなどのイラストがユニーク。

2 口屋カナル




埋め立ての際に作られた運河。
運河越しに石鎚山が見えるビュースポットで、特に満潮時の夕日の時間帯がおすすめ。
新居浜太鼓祭りでは船御幸が行われている場所。

4 米の藤松屋
(現在は営業しておりません)



古民家カフェを連想させる佇まい。
あまり見かけなくなったレトロな看板も見どころ。

6 垂水さん宅前の小女郎像



約90年前から同じ場所にある。
伝説の「小女郎狸」が変身したという姫の石像。姫の足元からちよびりのぞいた片足は、狸の足のように見える。またその後ろには狸のしっぽのようなものが見える。
この場所は、当時「垂水味好堂」という菓子屋さんがあった場所で、看板商品に「小女郎飴」があり、その店先に小女郎像があった。

8 加藤通船



海岸通り沿いにあるひととき目をひく可愛いピンクの灯台。
御代島の西にある船上さん(船上岩)にあった灯台を譲り受けピンクに塗り替えた。

Hello! NEW

新居浜